26年度の実施状況

平成27年7月23日 生活環境課

⑥低炭素まちづくりプロジェクト

数値目標 公共施設の緑のカーテン取組率

目標値 平成30年度 60%

実績値 平成26年度 57.9%

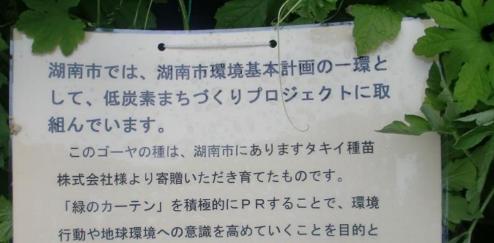
(平成27年度 58.3%)

東庁舎 食堂前の例示



緑のカーテン





湖南市役所: 生活環境課

しています。

湖南市では、湖南市環境基本計画の一環と して、低炭素まちづくりプロジェクトに取 組んでいます。

楽しく気軽に育てるだけで、ヒートアイランドや 地球温暖化防止に役立つ「緑のカーテン」を積極 的にPRすることで、環境行動や地球環境への意 識を高めていくことを目的としています。

湖南市役所:生活環境課

⑧エコな語り部プロジェクト

数値目標 出前講座等の開催件数

目標値 平成30年度 10回/年

実績値 平成26年度 6回

出前講座 小学校家庭廃油石けん講座

湖南市健康推進員養成講座

老人クラブ環境講座(2回)

水戸小学校環境講座

菩提寺北小学校環境講座





←老人クラブ研修

健康推進員養成講座→



9平成義民プロジェクト

数值目標 平成義民宣言人数

目標値 平成30年度 60人

実績値 平成26年度 23人

(団体登録2団体13名含む)



⑪環境情報街道プロジェクト

数値目標 脇本陣への情報提供

目標値 平成30年度 2回/年

実績値 平成26年度 1回

湖南市環境基本計画



⑪環境作法書プロジェクト

数値目標 作法書の作成

目標値 平成30年度 2回/年

実績値 平成26年度 0回



発信情報の例

省エネについて

エネルギー消費を中心に家族全員のちょっとした心がけで、環境にも財布にもやさしい省エネを実践してみてはどうでしょうか。

ガソリンは1970年から約40年後の2007年には約13倍、電気は約5倍に増加しています。電気製品以外の省エネについて考えて見ましょう。

1. 自動車

最近はハイブリッド車や電気自動車も増えていますが、エネルギー消費を少なくするためには、「エコドライブ」が有効ですので、次の取組を参考にして下さい。

- 急発進・急停止は避ける。
- ② アクセルの空ふかしはしない。
- ③ 不要な荷物は積まない。
- ④ アイドリングは避ける。
- ⑤ 公共交通機関を利用する。
- ⑥ 法定速度を遵守する。
- 2. 衣・食・住のエコ知恵

■衣類編

夏は

- できる範囲でノーネクタイを心がける。
- ・普段着は軽装で、

タは

- 保湿性の高い肌着を着る。
- 重ね着も効果的。

■食品編

冬は

暖かい食品や身体の中から暖める根菜類を食べる。

■住居編

夏は

- 窓に断熱シートを貼る。
- ゴーヤや朝顔の緑のカーテン、すだれなどで日射を遮蔽する。
- 打ち水をする。

廃棄物 (捨てるもの) について

捨てるもの(廃棄物)は一般家庭から出るものと事業者から出るものとに区別されていま す。(一般家寮物と産業廃棄物)

同じものでも、一般家庭から出るものと事業者から出るものは処分方法が違います。(処理 方法ではありません。)

一般廃棄物については、処理の責任は市町村にあります。産業廃棄物については、処理の 責任は事業者にあります。事業者の力は廃棄物の処理費用を全て負担していますが、一般家 庭のごみは一部負担をいただいていますが、ほとんどを市にて負担しています。

そのため、一般廃棄物の量を減らすために、減量化や分別等いろいろみなさんにお願いしています。

最近よく耳にする3Rって音葉!ご存知ですか?「Reduce」「Reuse」「Recycle」の頭文字をとって3Rといいます。

「リデュース」・・・発生抑制。ごみを作らない「安物買いの銭失い」にならない。 使い捨て 商品の使用を減らす。必要以上の物を買わない。

「リユース」・・・再使用。詰め替え商品の購入。フリーマーケットなど不要になった物の再 利用などです。湖南市で実施している交換銀行もこの取り組みの一つで ナ

「リサイクル」・・・分別してもう一度原材料にして、新しい商品にすることです。 代表的なのは、ベットボトルのポリエステル布製品等への再生です。

最近では

リフューズ・・・拒否 ごみになるものを拒否する。製造・流通地点で発生源を断つ。 リペア・・・直す 嫌れても修理して使う。

リフォーム・・・改良する 着なくなった服などを作り直す。

リバイ・・・買う リサイクルされたものやリユース品を積極的に購入または利用 する。

などいろいろな活動が提唱されています。

市で分別されたごみの行方について紹介しましょう。

- ■魔プラスチックは、関形燃料と荷物を乗せるパレットの原材料)になります。
- ■空き瓶は、食品のビンのみ色分別し、新たな瓶に生まれ変わります。お酒などの一升瓶は リターナブル瓶として繰り返し使用されています。
- ■空き缶は、アルミとスチールに分別して、それぞれの原材料になります。
- ■古紙は、新聞・新聞広告、雑誌、ダンボールに分別して、トイレットペーパーやダンボール の原材料になります。
- ■ペットボトルは、溶解して衣類やカバン等の原材料になります。

27年度のプロジェクト進め方

公共施設の緑のカーテン取組

今年度も育苗したものを各施設の要求により配布

12箇所 157鉢 配布

出前講座等の開催件数

現在2箇所の実施

菩提寺北小学校・甲西中学校 他昨年と同様の講座の企画と参加

平成義民宣言人数

企業・団体で環境活動をされている方の 発掘と依頼の実施

脇本陣への情報提供・作法書の作成

各まちづくりセンターがまちづくり協議会への 指定管理を行ったため本年度は各まちづくり 協議会と協議を行い必要情報の把握と情報 の発信を行う